

保険クリニックのホームページが新しくなりました。  
 保険の選び方を説明した”教えてクリニック”や、現役アドバイザーが  
 保険にまつわるタイムリーな話題をつづった”コラム”など、情報満載!  
 難しいと思われがちな生命保険が、身近に楽しく感じられるHPになっています。  
 是非一度ご覧ください。



Clinic News

内容を大幅に拡充して、リニューアルオープンしたHP! のぞいてみると...

保険クリニックって?

保険クリニックの説明や、相談の流れなどをわかりやすく解説。  
 保険分析を受けたお客様の体験談も。また、「ヴァーチャル来店体験」では  
 実際にどんな資料でどういうふうにアドバイスされるのかを体験できます

おしえてクリニック

どんな保険に入ればいいのか...と悩んでいる人は是非!  
 ライフステージに合わせた「保険の選び方」や、仕組だけでなく選び方の  
 ポイントがわかる「商品解説」、入院日数や費用など身近なデータを  
 まとめた「なるほど資料室」など、役立つ情報がいっぱいです

あなたの街の保険クリニック検索

保険の選び方

ヴァーチャル来店体験

保険商品解説

必要な情報を  
わかりやすく

なるほど資料室

など

Topics

【日銀が量的規制緩和を停止】

< 2006/03/09 >

日銀は5年にわたる異例の量的緩和政策を解除した。国内の金融政策が引き締め方向へ転換するのは1990年以来。

金融政策の目標を、市場に供給するお金の量 (=金融機関が日銀に預ける当座預金残高) から、金利の調節を通じた政策に戻す。ただ、当面は短期金利をゼロ%程度に促すゼロ金利政策を維持し、景気を下支えする。30兆円以上に積み上がった当座預金の残高は、市場に大きな影響を与えないように配慮しながら、6兆円程度まで引き下げる。

【積立保険の誤表示問題】

< 2006/03/11 >

あいおい損保から始まった誤表示問題。11日、あいおいは積立保険の商品説明文書に、実際より高い運用利回りを約束するような表示があったと発表。実際の受取額と誤表示された受取額の差額を契約者に支払うことを決めた。追加支払額は最大約200億円。さらに13日には損保ジャパン、14日には三井住友海上火災と、まったく同内容での不祥事が発覚。ただ、「悪意をもった契約者が重箱の隅をつつくように次々と誤表示を探しかねない」といった懸念も出ており、あいおいのような契約者への追加支払にすぐに結びつくかどうかは、業界でも意見が分かれている。

【保険販売のルール改正 わかりやすく】

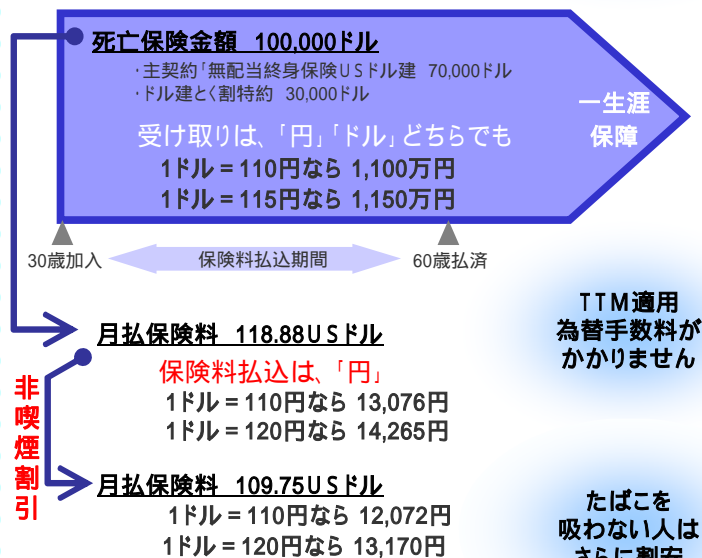
< 2006/03/22 >

金融庁が生命・損害保険会社への監督指針を改正。4月1日から保険商品の勧誘・販売に関するルールが大きく変わった。消費者に対する商品の仕組やリスクの説明を充実させるとともに、誤解を与えるような紛らわしい広告をなくすよう求める。具体的には、これまで商品の魅力ばかりが前面に押し出されがちだったが商品の短所も記載されることに。また「業界ナンバーワン」などの文言を盛り込む場合には、明確な根拠が必要とされるなど。さらに契約者と保険販売員の双方が「意向確認書」にサインしないと契約を結ぶことができないルールを来春にも導入する予定。

Best Selection

AI G エジソン生命の  
ドル建とく割終身保険

【例: 30歳男性 月払】



\* ちなみに... \*

同社の円建てとく割終身保険1100万円の  
場合

月払保険料 19,460円

ドル建とく割の方が、約33%も割安に。  
他社商品とも比べてみる価値あり!

あくまでも商品概要ですので、  
詳しい内容は、必ずパンフレット・  
約款をご覧頂くか、弊社社員まで  
お問い合わせ下さい。

Close Up!

Q

「量的規制緩和」って最近よく聞くけど、  
私たちの生活には何か影響が出るのかな?



A

量的規制緩和とは、市場のお金の量を規制してきた異例の金融政策から、金利を上げ下げすることによって調整する本来のやり方に戻すということです。といってもピンときませんよね。私たちの生活にはいったいどんな影響が出るのでしょうか? 一番身近な影響としては、「住宅ローン金利の上昇」が挙げられると思います。日銀はこのたびの量的緩和策解除に伴い、無担保コール翌日物調整し、当面はおおむねゼロ%程度で推移するよう促す、と発表しています。ということは、すぐに金利が上がる訳ではないということになりますが、今秋には利上げすると予想するエコノミストが多いようです。ようやく景気回復と言われるようになり、そういった状況の中で超低金利が長引けば、投資や消費が過熱し、インフレやバブルにつながる恐れがあるので、日銀はある段階になると「適正な水準」に利上げするだろうという考えからです。実際、利上げを予想して、企業貸し出しや住宅ローンの金利は、既にじわじわと上昇する兆しが。したがって、これから変動金利や短期固定型の住宅ローンを組む場合は、金利が上昇しても困らないように...という点を頭に入れておいた方がよさそうです。

商品に関するお問い合わせや、住所変更などの各種手続き、  
 その他保険に関するモロモロのご相談は...

株式会社アイリックコーポレーション

本店: 03-5840-9550 free 0120-347-401

大宮店: 048-650-1322 free 0120-132-271

松戸店: 047-308-6123 free 0120-827-929

Mail: [clinic@irrc.co.jp](mailto:clinic@irrc.co.jp)

<http://www.irrc.co.jp>